

カメルーン★どうでしょう

2022年11月8日
JICA 海外協力隊
カメルーン通信
出町 卓也
Numéro. 1

Bienvenue au Cameroun!

Bonjour! JICA 海外協力隊 2022 年度 2 次隊、小学校教育でカメルーン共和国に派遣中の出町卓也（でまちたくや）です。兵庫県出身で、岐阜県では中学校教員として、高山市、関ヶ原町、大垣市で9年ほど勤務しました。これから、縁あってやってきたカメルーンでの活動を、皆さんに少しばかり紹介していきます。

さて、カメルーンに到着して数週間が経ちました。今は首都のヤウンデに滞在しています。語学の研修やこれからの生活に向けたオリエンテーション、各種手続きやあいさつまわりをしています。



カメルーンってこんな国。



カメルーン共和国 DATA

- ・最初に訪れたポルトガル人がエビの多さに「カマラウン（ポルトガル語でエビ）」と名付けたものがなまってカメルーンになった
- ・アフリカ大陸の真ん中あたりに位置する
- ・日本から飛行機を乗り継いで約 24 時間
- ・時差は日本より 8 時間遅い
- ・首都はヤウンデ（Yaoundé）
- ・サッカーが有名で、今月の W 杯にも出場
- ・公用語はフランス語と英語
- ・250 以上の民族が住んでいる

カメルーンの国旗（諸説あり）

- 緑・・・繁栄への希望、広大な森
- 黄・・・太陽、サバンナ地帯
- 赤・・・独立のために流された血、統一
- 星・・・統一の象徴、栄光



首都ヤウンデはこんなところ。



山の上から見下ろした首都ヤウンデです。たくさんの自然に囲まれた街であることがわかります。また、うっすらと地面が赤いのが見えるでしょうか。赤道に近い関係か、ここの土は赤いです。履いてきたスニーカーが徐々に赤く染まっています。

ヤウンデは車社会です。黄色いタクシーがたくさん走っています。クラクションがよく鳴っています。信号がそんなにないので、警官が道路に立って交通整理をする姿もよく見かけます。

メインの食事はフランスパンやお米、パスタなどがあります。フランスの元植民地だったこともあり、フランスパンはよく見かけます。サンドイッチもあります。結構大きいです。半分サイズ売ってないかな～と思いながら、眺めています。

お米はタイ米のような細長いものが多いです。炊いても日本米のようなふっくら感はありません。ですが、チャーハンなど炒めて食べる分にはとても便利です。

右の写真はカメルーン料理です。左側はフライドポテト、下側はチキン、そして右側の緑色のものは「ンドレ」といいます。ほうれん草に似た見た目です。ンドレという葉っぱにくだいたピーナッツと混ぜて作ったもので、味はやや苦みがありますが、個人的にはあっさりしていて食べやすいです。



さて、この首都生活ももうすぐ終わり、私は配属先へ赴任し、活動がスタートします。次回はその配属先からカメルーンの地方の様子をお届けします。それでは、A bientôt!